

2020年1月24日

公益社団法人 日本鉄道広告協会 中部支部

JAFRA 中部支部「交通広告インターンシップ」 中部地区大学生と広告を制作

公益社団法人 日本鉄道広告協会（以下、JAFRA）中部支部【支部長：阿久津光志】は、岐阜県【県知事：古田肇】と東邦ガス株式会社【代表取締役社長：冨成義郎】の協賛により、愛知県立芸術大学【学長：戸山俊樹】、愛知大学【学長：川井伸一】、金城学院大学【学長：奥村隆平】、名古屋芸術大学【学長：竹本義明】、名古屋造形大学【学長：山本理顕】の学生が制作した広告を JR 名古屋駅のデジタルサイネージ「名古屋エクスプレスビジョン（※1）」で1月27日から、大型ボード「名古屋ワイドウォール（※2）」で2月3日から掲出します。

JAFRA 中部支部では、鉄道広告に関わる次世代の人材育成を目指し、大学生とのインターンシップ・調査研究事業に2013年度より取り組み始め、7回目となる今年度は、「交通広告インターンシップ2019」と題して、中部地区の計6大学39名の学生とともに鉄道広告に関する講義を実施し、鉄道広告への関心・理解を高める活動を行ってきました。

約2ヶ月にわたるインターンシップの中で広告制作に取り組み、コンペ形式で行われたプレゼンテーションの結果、岐阜県が協賛する「飛騨地方を旅行で訪れたいくなる広告」は愛知県立芸術大学、愛知大学、金城学院大学、名古屋芸術大学の学生が共同企画した広告が採用され、東邦ガスが協賛する「ガスの火の良さが伝わる広告」は愛知県立芸術大学、愛知大学、金城学院大学、名古屋造形大学の学生が共同企画した広告が採用されました（詳細別紙）。岐阜県の広告は JR 名古屋駅のデジタルサイネージ「名古屋エクスプレスビジョン」で、東邦ガスの広告は JR 名古屋駅の大規模ボード「名古屋ワイドウォール」で掲出することとなりました。

今後も JAFRA 中部支部は、鉄道広告の発展による国民生活の向上への寄与、中部地区での人材育成についても積極的な取り組みを進めてまいります。

※1 名古屋エクスプレスビジョン

JR 名古屋駅太閤通口側に設置された、55インチビジョン18面のマルチビジョン型のデジタルサイネージ。

※2 名古屋ワイドウォール

JR 名古屋駅在来線改札内（北通路）に設置された、縦2.06m、横8.96mの大規模ボード。

■ 実施概要

掲出箇所／期間

JR 名古屋駅「名古屋エクスプレスビジョン」／1月27日（月）～2月2日（日）7日間

JR 名古屋駅「名古屋ワイドウォール」／2月3日（月）～2月9日（日）7日間

お問い合わせ先

公益社団法人 日本鉄道広告協会 中部支部事務局

（株）ジェイアール東海エージェンシー内 TEL. 052-566-3305 川合、松永、櫻井

■ 広告掲出詳細

岐阜県

掲出箇所： 名古屋エクスプレスビジョン (JR 名古屋駅太閤通口)

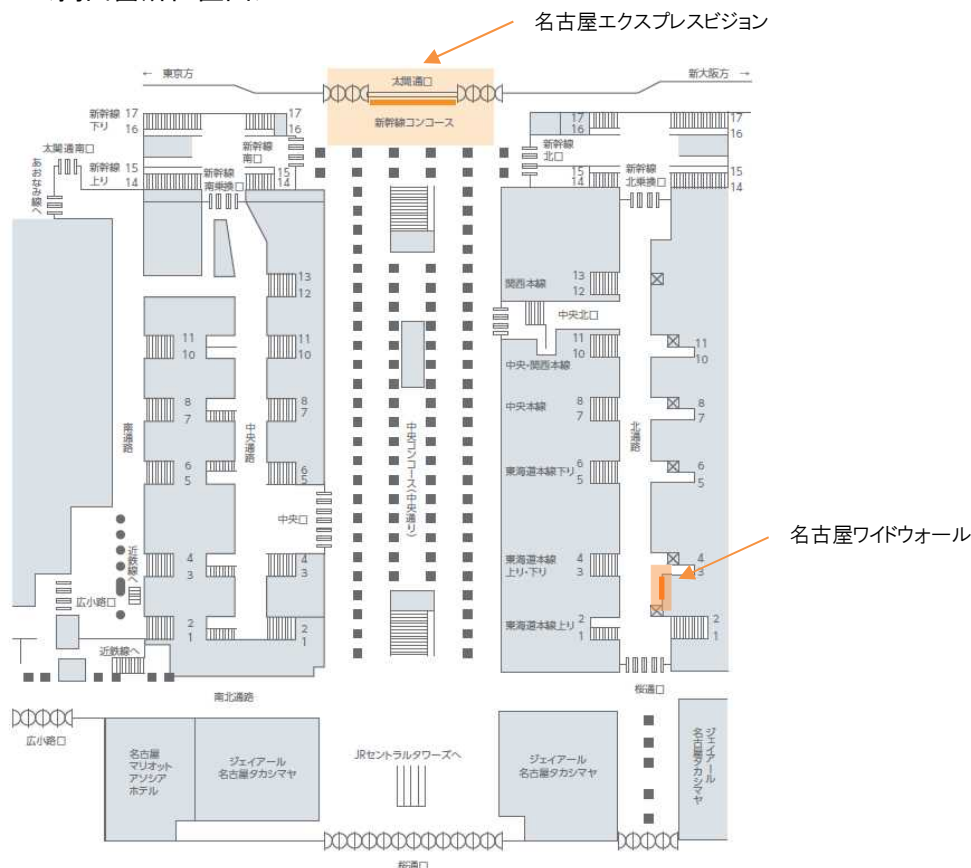
掲出期間： 1月27日(月)～2月2日(日) ※6時～24時の間で、1ロール2分30秒あたり15秒放映

東邦ガス

掲出箇所： 名古屋ワイドウォール (JR 名古屋駅在来線改札内北通路)

掲出期間： 2月3日(月)～2月9日(日)

＜掲出箇所位置図＞



＜掲出箇所イメージ＞



名古屋エクスプレスビジョン
(55インチ 18面マルチビジョン)



名古屋ワイドウォール
(縦 2.06m、横 8.96m ボード)

<放映する広告のイメージ>

・岐阜県

(1)



(3)



(5)



(2)



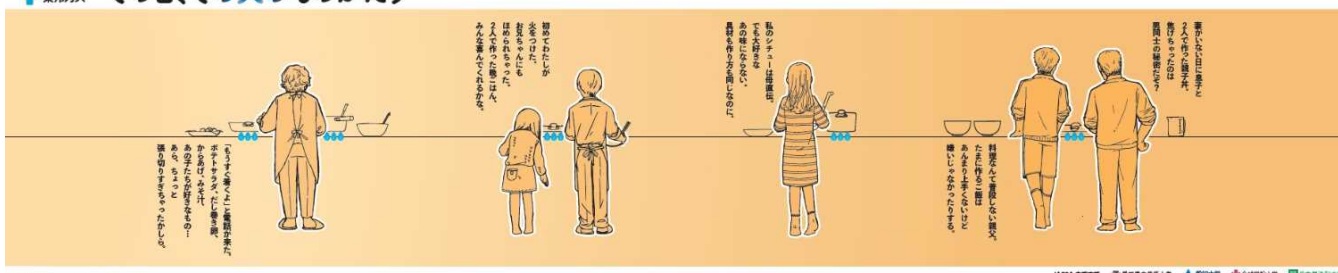
(4)



飛驒牛をはじめとするグルメや日本三名泉のひとつ下呂温泉、飛驒高山の古い町並など、岐阜県飛驒地方が持つ数多くの魅力を「愛知ユイ」と「飛驒牛」という目を引くキャラクターを用いてコミカルに表現しました。

・東邦ガス株式会社

東邦ガス その日、その火のものがたり



大切な誰かを想い台所に立つ人々の後ろ姿と、暮らしの中にある「火」の温かさを表現しました。